

★目標及びめざす子ども像（奈良市教育振興基本計画より）

生涯にわたり学び続け、他者と協働して未来を切り開く人間の育成

みずから学ぶ子

身に付けた知識や技能を生かし、自ら学び、自ら考え、生涯にわたって主体的に学び続ける力を持った子ども

とことん学ぶ子

興味や関心に応じて教科の枠にとらわれず、納得いくまでとことん追究し、やり遂げる力を持った子ども

つながり学ぶ子

同年齢や異年齢の中で、あるいは地域や社会とつながり学ぶことで、新しい価値を創造し、課題を解決する力を持った子ども

★中学校区における教育目標及び 15 歳（中学校3年生）の具体的な姿

富雄中学校区教育目標

1. 命やひとを大切にする子
2. 感謝の気持ちを大切にする子
3. 夢に向かって進める子
4. 富雄を愛する子

中学校区オリジナル

○様々な疑問や問題を解消するために、自ら進んで学習に取り組もうとする子。
○ICT等を活用し、様々な方法で自分の思いや考えを伝えられる子。

中学校区オリジナル

○自分の将来像について友だちと語り合い、その実現に向けて努力できる子。
○様々な仕事の特性を理解し、目標を持って様々な学習や仕事に進んで取り組む子。
○すべての命や人を大切にすることができる子。
○適切な生活習慣や食習慣を身に付け、運動することの楽しさと充実感を感じることができる子。

中学校区オリジナル

○互いを認め、支え合うことができる子。
○多くの人との出会いを通じて、色々なことを学び、自分を成長させることができる子。
○自分の住む富雄の地を愛し、ボランティア活動など様々な方法で、地域に貢献する子。
○奈良の優れた文化遺産を守り、受け継ぐ子。
○SDGsの理念を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けて未来を切り拓く子。

★具体的な姿を実現するための共通の取組

学習面

- すべての教科においてプレゼンや対話的活動の機会を数多く設定し、取り組ませる。（発表に慣れる。ICT等の活用。）
- 学力調査等の分析をもとに、ユニバーサルデザインの視点を入れた授業づくりに取り組む。（学力向上。）
- 読書活動の奨励していく。（語彙を増やす。話し方を学ぶ。書く力を伸ばす。）
- ゲストティーチャーと連携した学習や体験活動を充実させ、意欲的に取り組ませる。（道徳心の向上。意欲関心の向上）

生活面

- すべての教科においてグループ活動を数多く設定し、取り組ませる。（仲間づくり。責任感を持たせる。）
- 委員会活動を中心としたあいさつ運動を継続して、実施する。（あいさつ・コミュニケーション能力の育成）
- 自分の将来像を意識させられるように、キャリア教育の充実を図る。（キャリア教育）
- 目的意識を持って様々な活動に進んで取り組めるように、各種行事や教育相談などを充実させる。（自己肯定感の向上）

★組織

小中一貫教育推進委員会（校長・教頭・教務・研究各主任）																			
教科部会											分掌部会								
国語	数学・算数	社会	理科	外国語	音楽	美術・図工	保健体育	技術・家庭	総合「なら」	道徳	教務	情報 ICT	生徒指導	生徒会・児童会	安全・生命	人権	特別支援	養護	事務
		生活																	

★年間実施計画

	内 容			
通年	子ども 教員 地域	・学習内容の共有 ・行事調整 ・地域教育協議会	・児童会、生徒会の連携 ・小中合同研修 ・小中保護者交流会	・ボランティア部の連携 ・小中一貫教育推進委員会 ・参観の交流
月	内 容		月	内 容
4			10	・富雄中体育大会 ・体育参観（三碓小・富雄北小） ・秋祭り
5	・地域教育協議会 1		11	・小中保護者交流会 ・小中合同授業研究（公開授業）
6	・小中一貫教育推進委員会 1 ・小中 PTA 交流会 ・ボランティア部合同活動 ・とみ学級体験入学		12	・地域教育協議会 2
7	・鳥見夏祭り		1	・各種データ分析 ・小中交流会（体験入学） ・小中一貫教育推進委員会 3
8	・小中合同研修会 ・合同巡視 1		2	・小学校給食等視察 ・地域教育協議会 3
9	・ボランティア部合同活動 ・小中一貫教育推進委員会 2		3	・総括

※ 計画は4月27日時点のものです。今後の社会状況により中止・変更する場合があります。

★評価・検証の方法

- 学校評価アンケートの分析と活用
- 全国及び市学力学習状況調査の分析
- 学校評議委員や外部評価者からの講評及びアドバイス